

揖斐郡森林組合だより



# やまびこ

No.92



2025年8月1日発行：揖斐郡森林組合  
揖斐川町上南方1973番地の370 0585-22-6511



# 第三十回 通常総代会開催

去る二月二十七日、揖斐川町地域交流センターにおいて、第三十回通常総代会を開催致しました。総代数二百名のうち、書面出席者数八十五名、本人出席者数六十六名、合計百五十一名のご出席をいただきました。

議長には、坂内地区の宮川仁一様が選出され、議案の審議が進められました結果、九議案すべて原案どおり承認されましたので、ご報告致します。

ご出席、書面出席いただきました、総代の皆様にお礼を申し上げますとともに、組合員の皆様のご支援とご協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。承認いただきました議案は次のとおりです。

## 議決事項

**第一号議案**  
令和六年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について

のカーボンクレジット制度である「G-クレジット」の認証を受け、百八十トンのクレジットを販売することができました。

森林整備部門では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した環境保全整備事業での保育間伐、里山林整備事業、国が示した花粉発生源対策に基づき、皆伐跡地での少花粉スギのコンテナ苗の植栽、獣害対策事業等を行いました。

森林経営計画の認定については、令和四年より従来の林班単位から区域単位での計画へと変更し、既に樹立している旧谷汲村と旧春日村・池田町の計画区域の拡大および、旧坂内村の区域計画の樹立に取り組みしました。

人材の確保・定着化を推進するため、労働環境の改善・向上に努めてまいりました。電波の届かない林業現場の不感地帯を解消することを目的に、ICTツールを活用した実証実験を実施しました。これにより、迅速な情報伝達が可能となり、安全性と生産性の向上につなげることが出来ました。

以上の状況の下、組合の決算状況については、事業総利益が計画対比百一十一%、事業利益が計画対比百五十%、当期剰余金が計画対比九十六%の千五百七十七万円とな

**第二号議案**  
令和七年度事業計画の設定について

**第三号議案**  
令和七年度借入金最高限度額の決定について

**第四号議案**  
令和七年度余裕金預入先金融機関の決定について

**第五号議案**  
令和七年度一組合員に対する貸付金の最高限度について

**第六号議案**  
森林組合定款、附属書森林組合役員選任規程、附属書森林組合総代選挙規程の一部改正について

**第七号議案**  
森林組合規約の一部改正について

**第八号議案**  
役員補欠選任について

**第九号議案**  
令和七年度役員報酬の決定について

りました。

このような実績を収めることができたのも、ひとえに組合員の皆様のご理解とご協力、さらには国・県・町および関係機関の皆様からのご指導とご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

## 個別事業概況

**○指導部門**  
組合機関誌「やまびこ」を2回発行し、組合の状況、森林・林業の現状並びに木材市況など情報の提供しました。

「いびがわ産業フェスティバル」等の各種イベントにおいて、県産材を活用した木工体験を行い、木育推進に努めました。

地元小学生を対象とした間伐体験等に講師として参加し、森林の大切さ、木材の利用について学習指導しました。

## ○販売部門

班編成を見直し、搬出区域外の保育間伐を専門に実施する造林班を増強しました。このことにより、林産班は搬出作業に専念でき、夏場は酷暑との闘いでありましたが、一事業地からの生産量を増やしながらも、滞りなく事業を完遂することが出来ました。また、今年度は花粉発生源対策事業



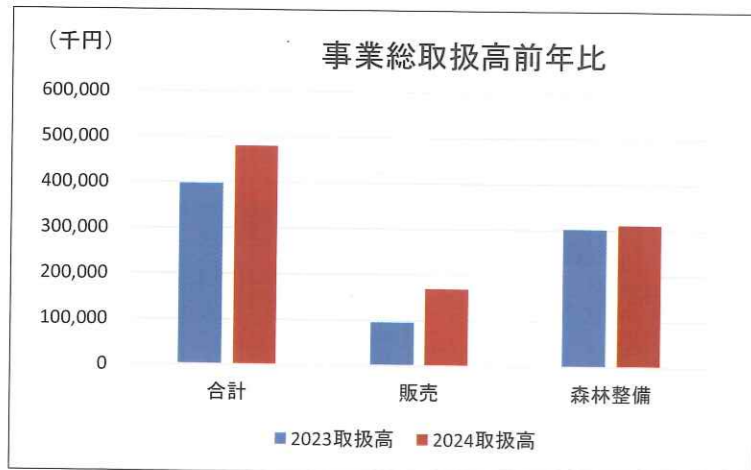
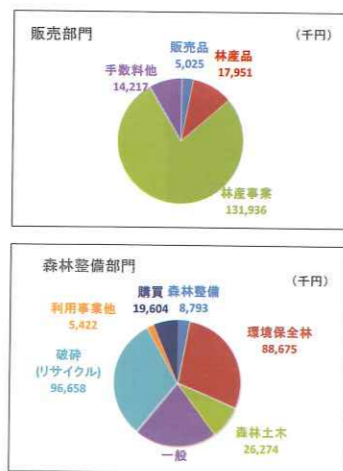
## 令和六年度 事業報告

令和六年は、元日に発生した能登半島地震から始まり、異常気象や自然災害が相次ぎ、特に台風や豪雨による土砂災害は、私たちの地域にも大きな影響を及ぼしました。これらの災害は、気候変動の影響が顕著に表れていることを改めて認識させるものであり、森林管理の重要性を一層強く感じる契機となりました。さらに、気象災害の多発に加え、国際的な紛争の影響などによる物価高の深刻化など、私たちの生活に大きな影響を及ぼす出来事が続いた1年でもありました。

こうした中、令和六年度の組合事業については、物価高騰の影響により生産原価が上昇する中、各種事業に積極的に取り組み、事業量拡大に努めました。事業計画より約四千万円多く取り扱うことができ、約四億七千九百万円の事業総収益となりました。

販売部門では、現場実施班を一班増やすことができ、素材生産量の拡大に努めました。人工林の高齢化に対応すべく大型の集材機械（スイングヤーダ、ラジキャリ）を導入し、作業効率の向上と素材生産コストの低減を図りました。また、岐阜県独自の森林由来

破碎（リサイクル）事業については昨年度の実績には及ばなかったものの計画を上回る結果となりました。



スターリンクの導入

昨年、山間部電波不感地帯解消に向けた取り組みとして、衛星通信サービス「スターリンク」を活用した実証実験を行いました。その結果、森林内でもインターネット接続が可能であることが確認できたため、今年度より本格的な導入を開始しました。これに合わせて、現場での情報共有や報告業務をよりスムーズに行えるよう、タブレット端末も導入しました。

これらの機器により、作業現場からの連絡や写真・図面の送受信がリアルタイムで行えるようになり、安全管理体制の強化や作業効率の向上に大きく寄与しています。また、急な天候の変化や作業中のトラブル時にも迅速な対応が可能となり、現場と事務所との連携がこれまで以上に密になりました。今後もICTの活用を進めながら、より安全で持続可能な林業の実現を目指していきます。



作業現場からの連絡がスムーズに!

広葉樹施業

揖斐郡の民有林のおよそ60%は広葉樹林で占められており、地域の森林資源として大きな可能性を持っています。こうした特性を踏まえ、当組合では昨年度より、広葉樹を活かした新たな施業の一環として、シイタケ原木の生産に取り組み始めました。伐採・玉切りから搬出までを一貫して行い、生産された原木は地域内外の需要に応じて出荷しました。

広葉樹はスギやヒノキに比べて施業の難しさもありますが、山林の多様性を保つうえでも重要な存在です。シイタケ原木として利用することで、経済的な価値を見出しながら、広葉樹林の適正な管理にもつなげることができます。

今年度も引き続き、原木生産をはじめとした広葉樹の利活用に取り組む予定です。地域の森林資源を有効に活かし、多様な林業のかたちを模索していきます。



チェーンソーによる造材



生産したシイタケ原木



シイタケ原木を出荷

安心と共生のニホンザル対策事業

岐阜県政策オリンピック、安心と共生のニホンザル対策事業において、当組合が提案したプロジェクトが採択されました。

揖斐川町では近年、ニホンザルによる農作物被害が深刻化しており、里への出没が日常化しています。こうした状況の背景には、山の環境が荒れ、サルたちの食べ物や住処が減っている現実があります。そこで本事業では、「サルが無理に人里へ来なくても暮らせる山」を整えることを目的としています。具体的には、不成績造林地を伐採・搬出したうえで、広葉樹を植栽し、多様な樹種が育つ山へと再生していきます。こうした環境づくりを通じて、サルが山の中で安心して暮らせる“住処”を整えていきます。

捕獲は、これまでどおり揖斐川町の鳥獣被害対策協議会が担い、森林組合は山の整備と環境づくりを担当します。また、すでに装着されているGPS発信器によるサルの行動データも活用し、効果的な誘導を進めていきたいと考えています。

林業には「木を伐る」だけでなく、「山を育てる」「自然と共に生きる」という役割があります。このプロジェクトでは、サルと人、お互いの暮らしが分断されずにすむ関係を、山の現場から再構築していきたいと考えています。

サルが山に帰り、人が安心して暮らせる地域を。

「共生の山づくり」を、林業の力で進めてまいります。



当組合が提案したプロジェクトが採択されました

未来へつなぐ、私たちの森づくり

～揖斐郡森林組合の取組み～

森づくりで支える、わたしたちのSDGs



搬出間伐

地域の森林を未来へつなげるために、当組合では一定の区域ごとに森林経営計画の作成を進め、計画的な森林管理を進めています。森林所有者の皆さまと合意形成の下、まとまりある施業提案を行い、搬出間伐を軸とした整備を実施しています。間伐を適切に進めることで森林内に光が差し込み、植生の再生が促されることは、健全で災害に強い森林づくりにも貢献しています。

施業の集約化によって、現地の地形に調和した効率的な路網整備が可能となり、高性能林業機械の活用と合わせて作業の省力化・低コスト化を実現しています。こうした効率化によって、最終的には組合員の皆さまへの還元につながる仕組みづくりを目指しています。



間伐実施前(平成25年)



保育間伐実施後(平成26年)



作業道を開設し、搬出間伐を実施しました(令和7年)

主伐・再造林

持続可能な林業の実現に向けて、当組合では地域資源を活かした循環型の取り組みを進めています。国や県が推進する再造林支援策(花粉発生源対策等)を活用し、計画的な伐採と再造林を一体的に行うことで、森林資源の再生と林業の経済性を両立させることを目指しています。

伐採時には「全木集材方式」を導入し、現場の整地作業にかかる手間と費用を抑えています。また、再造林には花粉の少ないコンテナ苗を使用することで、作業負担の軽減とともに、将来的な花粉対策としての効果も期待されています。植栽後は、苗木がシカなどの野生動物に食害されないよう、獣害防止資材を設置し、苗木の健全な成長を支えています。

また、当組合では、木くずを処分するリサイクル事業にも取り組んでいます。組合実施の林産現場で発生する林地残材、建設工事現場の支障木などを組合リサイクル事業場にてチップ化し、バイオマス燃料等の生産を行っています。地域に根差した「持続可能な林業モデル」の確立に挑んでいます。



タワーヤーダによる集材



植栽後の獣害防止資材の設置



林産現場から発生する林地残材の搬出



# ゼロカーボンシティ宣言

3月28日、揖斐川町、いび川農業協同組合、揖斐川町商工会、揖斐郡森林組合の共同で、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「揖斐川町ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

私たちは、健全な森林整備を通じて二酸化炭素吸収源を創出し、ゼロカーボン社会の実現に貢献しています。これからも持続可能な森林経営を推進し、自然と共生する地域づくりを力強く進めてまいります。



## G-クレジット

令和7年度認証 クレジット量 506t-CO2



## 組合からのお願い

以下に該当する変更が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要になります。

円滑な組合運営のために組合員台帳の整理にご協力をお願い申し上げます。お手数をおかけいたしますが、当組合までご連絡いただくか、組合ホームページ内の『組合員お問合わせフォーム』をご活用くださいますようお願いいたします。

### 1. 死亡による相続

組合員様（やまびこの宛名の方）が亡くなった場合、相続の届出書の提出をお願いしております。

### 2. 譲渡

組合員様（やまびこの宛名の方）から生前譲渡を行った場合、譲渡の届出書の提出をお願いしております。

### 3. 記載事項（住所変更等）

組合員様（やまびこの宛名の方）の住所や、会社の名称などの変更があった場合、名称変更届出書の提出をお願いします。



揖斐郡森林組合HP  
<https://www.ibishin.org/>

樹種	長さ	径級	平均値	高値	荷動き状況	入荷状況	気配
すぎ	3.0	13下	8,000	-	△	×	→
		14	13,200	-	△	×	→
		16~18	14,600	-	○	△	→
		20~22	14,700	-	○	△	→
		24上	13,100	-	△	×	→
	4.0	13下	8,500	-	△	×	→
		14	13,100	-	△	×	→
		16~18	14,000	-	○	×	→
		20~22	14,500	-	○	×	→
		24~28	14,400	-	○	×	→
6.0	30上	13,000	35,000	○	×	→	
ひのき	3.0	16~22	17,200	-	○	×	→
		13下	10,000	-	○	×	→
		14	18,500	-	○	×	→
		16~18	21,100	-	○	×	→
	4.0	20上	18,900	25,500	○	×	→
		13下	11,000	-	○	×	→
		14	18,500	-	○	△	→
		16~22	20,700	-	○	△	→
		24~28	19,000	-	○	×	→
		30上	18,700	38,900	○	×	→
6.0	16~18	-	-	×	×	→	

## 概況

定例市を開催。天候に恵まれ入荷は順調。今回も岐阜森林管理署のスギ材が出材され、引合いが強い市となった。素材不足を背景に在庫確保のため積極的な入札となった。梅雨入りし丸太の傷みや虫害が懸念されるため、早めの忌避剤散布をお願いします。出荷者各位には、厚く御礼申し上げます。

### システム販売 月間需要量

スギ	長さ	用途	径級	需要量
スギ	3m	柱用素材	16~24cm	50m <sup>3</sup>
	4m	構造材用素材	16~42cm	570m <sup>3</sup>
	4m	合板工場用素材	20~42cm	400m <sup>3</sup>
ヒノキ	3m	柱用素材	16~22cm	50m <sup>3</sup>
	4m	土合用素材	14~20cm	200m <sup>3</sup>
	4m	合板用素材	20cm~	300m <sup>3</sup>

### 市況

スギ4mの元木、尺上良材は、入札多数で活気あり、価格は保合。  
スギラミナ向け3m・4m材は保合。  
ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり。価格は強含みで引合いは強い。  
ヒノキ3m・4mの構造材の価格は強含みで推移。  
合板向けについては、価格は強含みで納材は順調。

- ◎造材は、合板用も含め、元株の処理・余尺及び段切り・斜め切り等ないよう、基本作業の確認をお願いします。並材、合板向けの余尺は0.10m~0.15mでお願いします。
- ◎製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。
- ◎出材を予定される場合は共販所担当者まで、御一報下さい。

# 第一八八五回県森連岐阜共販所市況速報

※表中平均値は2番直材  
・荷動き状況：○良好 △普通 ×不良  
・入荷状況：○多い △普通 ×不足

関市倉知字物見山4660-16  
岐阜林産物共販所

Tel 0575-24-6077 Fax 0575-22-2956

令和7年6月10日